

## 新書のススメ



天は人の上に  
人を造らず、  
人の下に  
人を造らず

「新書」＝勉強の本・内容が硬くて難しい。というイメージがあるのではないのでしょうか。そもそも「新書」は難しい専門分野の「入門書」の役割を果たしています。入門書でありながら、素朴な問い・疑問が解消されることが意図されています。近年はさらに読みやすい新書のシリーズ<岩波ジュニアスタートブックス・ちくまQブックスなど>も刊行されています。日頃、感じている素朴な疑問を新書が解決の糸口を提示してくれるかもしれません。岩波書店と筑摩書房の2つのレーベルからオススメ本を紹介します。

### 「客観性の落とし穴」

村上靖彦 著 ちくまプライマリー文庫  
話題の新書！「それって個人の感想ですよね」個人の感想のどこがいけないのか？

### 「生きづらい明治社会」

松沢裕作 著 岩波ジュニア新書  
世の中がドラスティックに変わった明治時代。今の状況にも似ているのでは？



### 「ダイエット幻想」

磯野真穂 著 ちくまプライマリー文庫  
「やせたい」と願う人はたくさんいる。  
でもどうしてやせたいの？

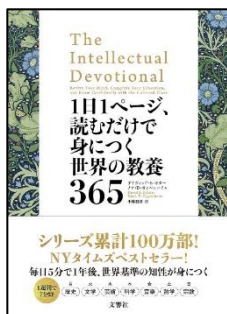
### 「ネット情報におぼれない学び方」

梅澤貴典 著 岩波ジュニア新書  
学びの場でもネットの膨大な情報を  
いかに使いこなすか？

※他に教養系の新書レーベルとして「中公新書」「講談社現代新書」などがあります。

## 推薦図書コーナー

この本  
イチオシ!



### 「1日1ページ読むだけで身につく世界の教養 365」 デイヴィッド・S・キダー 著 文響社

教養を高める本なのでベッド脇に置いて、朝目覚めたときや夜に休む前に読むことを毎日の習慣にしてほしいという気持ちで作られた本です。取り上げているのは七つの異なる専門分野—歴史、文学、視覚芸術、科学、音楽、哲学、宗教です。読み進めることで、知的好奇心が刺激され、人生がより豊かなものになることでしょう。



### 「話のネタ大百科」 話題の達人倶楽部編集 青春出版社

気の利いた話の「ネタ」で会話が盛り上がったり、和んだりすることがあります。会話が弾めば物事もよい方向へ進みます。本書では様々なジャンルの話の「ネタ」を紹介しています。「世の中のネタ」「グルメのネタ」「理系のネタ」等々。読むだけでも雑学のマメ知識が付き好奇心をそそります。すき間読書にも使えそうです。



### 「感染地図」 スティーヴン・ジョンソン 著 河出文庫

コロナウイルスやインフルエンザが流行る今、これまでに世界を変えてしまったウイルスを一度学んでみませんか。壮絶な感染の歴史が描かれた一冊です。



### 「ドイツの都市と生活文化」 小塩節 著 講談社学術文庫

先日、ドル建て名目 GDP の絶対額で日本がドイツに追い抜かれるという見通しが発表されました。ドイツについて知る良い機会かもしれません。ドイツの都市、気候、文化は、日本とどのように違うのでしょうか。ドイツの生活文化について学んでみましょう。



冬休み特別貸出 ひとり10冊まで 12/4 (月) ~ 返却: 1/12 (金)

